

報道関係者各位

細菌性赤痢の発生について（第4報）

12月4日発生の細菌性赤痢に関し、現在の患者発生状況や調査結果をお知らせします。

1 患者の概要及び発生経過等

12月11日(水)に6名の患者発生届が提出されました。当該6名は入院はなく、全員快方に向かっています。また、幼児が通園している保育所は12月7日(土)から11日(水)まで休園の措置をとっておりましたが、12日(木)から開園し、感染が確認されなかった家庭の園児に限定した保育を行っています。

(1) 5名が酒田市内の医療機関を受診し、細菌性赤痢と診断

No.	住所	年代	性別	届出日	発症日	症状			
						発熱	腹痛	水様性下痢	粘血便
1	酒田市	幼児	女	12/11	11/28	×	×	○	×
2	酒田市	幼児	女	12/11	11/28	×	○	○	×
3	酒田市	幼児	男	12/11	11/29	×	○	○	×
4	酒田市	幼児	女	12/11	11/29	×	○	○	×
5	酒田市	幼児	女	12/11	11/30	○	○	○	×

(2) 1名が庄内保健所の検便検査において細菌性赤痢と判明

No.	住所	年代	性別	届出日	発症日	症状			
						発熱	腹痛	水様性下痢	粘血便
6	酒田市	高校生	女	12/11	11/27	○	○	○	×

※ No.1～5は同一の保育所の園児で、No.6は同保育所に通園する園児の家族です。

2 12月4日に発生した細菌性赤痢に係る患者（陽性者）数

(1) 累計患者数：22名（保育所園児13名、家族9名）

累計入院者数は4名で、4名とも退院しています。

性別	幼児	小学生	中学生	高校生	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	合計
男	5	1		1				1	8
女	8	1		1			2	2	14

※ 10歳代は小・中学生及び高校生を除く。

(2) 累計家族数：16家族 ※1名でも1家族として計上

3 県（庄内保健所）の対応

家族や施設関係者への検便や健康観察の他、予防方法の指導を行うとともに、感染原因を調査しています。検便検査の状況は次のとおりです。（12月11日現在）

検便検体数	陽性	陰性	検査中
219検体	13検体	197検体	9検体

細菌性赤痢の予防には、調理や食事前、用便後に必ず石けんで手をよく洗うことが重要です。

県内細菌性赤痢発生状況（患者数）

今回発生	6名	問合せ先 山形県健康福祉部健康福祉企画課 薬務・感染症対策室 室長補佐 庄司 栄一 TEL:023-630-2292 報道監 健康福祉部次長 泉 洋之
本年累計	23名	